安全データシート

作成　2018 年 02 月 14 日

1. 製品及び会社情報

製品名　：Auto Premium Bisulfite Kit
製品コード　：C02030031

会社名　：株式会社ダイアジェノード
住所　：富山県富山市荒川 1 丁目 1 番 25 号
電話番号　：076-482-3110
FAX 番号　：076-482-3211

2. 危険有害性の要約

亜硫酸水素アンモニウムについて記載

GHS 分類　：金属腐食性物質　：区分 1
皮膚腐食性/刺激性　：区分 1A
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 1

GHS ラベル要素
注意喚起語

危険

危険有害性情報　：H290　金属腐食のおそれ
H314　重篤な皮膚やけど・眼の損傷を起こす
H318　重篤な眼の損傷をおこす

注意書き　【安全対策】
P234　他の容器に移し替えないこと。
P260　ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後はよく手を洗うこと。
P271　屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】
P310　直ちに医師に連絡すること。
P363　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
P304+P340　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P301+P330+P331　飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303+P361+P353　皮膚(又は髪)にかかった場合、直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄続けること。
P390　物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。

【保管】
P406　耐腐食性/耐腐食性内貼りのある容器に保管すること

【廃棄】
P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

グアニジン塩酸塩について記載

GHS 分類　：急性毒性（経口）　：区分 4
皮膚腐食性/刺激性　：区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 2A

GHS ラベル要素
注意喚起語

警告

危険有害性情報　：H302　飲み込むと有害
H315　皮膚刺激
H319　強い眼刺激

注意書き　【安全対策】　P264　取扱い後はよく手を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P280　保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】　P330　口をすすぐこと。
P362　汚染された衣服を脱ぎ、再利用する場合には、洗濯すること。
P301+P312　飲み込んだ場合：医師に連絡すること。
P302+P352　皮膚に付いた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313　眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
【保管】　P405　施錠して保管すること。
【廃棄】　P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

水酸化ナトリウムについて記載

GHS 分類　：皮膚腐食性・刺激性　：区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 1
特定標的臓器毒性・単回ばく露　：区分 2 (呼吸器)

GHS ラベル要素
注意喚起語

危険

危険有害性情報　H315　皮膚刺激を起こす
H318　重篤な眼の損傷
H370　臓器の障害のおそれ(呼吸器)

注意書き　【安全対策】　P260　ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後はよく手を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】　P310　直ちに医師に連絡すること。
P363　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P307+P311　ばく露した場合：医師に連絡すること。
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄続けること。
【保管】　P405　施錠して保管すること。
【廃棄】　P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

上記で記載が無い危険有害性は対象外又は分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物　：この製品は、水性緩衝液でバッファと合成 DNA オリゴヌクレオチドから成ります。
以下の潜在的に危険な化学製品を含みます。

化学名又は一般名	化学式	濃度	CAS 番号	危険有害成分
亜硫酸水素アンモニウム	NH4HSO3	≦70%	10192-30-0	亜硫酸水素アンモニウム
グアニジン塩酸塩	HN:C(NH2)2・HCl	≦60%	50-01-0	グアニジン塩酸塩
水酸化ナトリウム	NaOH	≦2.5%	1310-73-2	水酸化ナトリウム

4. 応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　：直ぐに多量の水と石鹸で洗い流す。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
：データなし

5. 火災時の措置

消火剤　：粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤　：特になし
火災時の特有危険有害性　：火災時に刺激性もしくは有害なガスが発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法　：火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護　：消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外の立入りを禁止する。密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項　：環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材　：漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気　：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行なう。
安全取扱注意事項　：漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
適切な保護具を着用する。
接触回避　：データなし
保管
適切な保管条件　：マニュアルを参考して保管する。
技術的対策　：特になし
混触禁止物質　：データなし
安全な容器包装材料　：ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度　ACGIH(TLV)　：データなし
日本産業衛生学会　：設定されていない
設備対策　：ばく露を防止する為に、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具　：保護マスク
手の保護具　：保護手袋
眼の保護具　：保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具　：長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色)	：無色透明な液体
臭い	：無臭
pH	：データなし
融点・凝固点	：データなし
沸点 初留点 及び沸騰範囲	：データなし
引火点	：データなし
燃焼又は爆発範囲(上限･下限)	：データなし
蒸気圧	：データなし
比重(相対密度)	：データなし
溶解度	：水に混和する
n-オクタノール/水分配係数	：データなし
自然発火温度	：データなし
分解温度	：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：データなし
化学的安定性	：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	：データなし
避けるべき条件	：日光、熱
混触危険物質	：データなし
危険有害な分解生成物	：一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

亜硫酸水素アンモニウムについて記載

急性毒性	：データなし	
皮膚腐食性・刺激性	：腐食性あり	区分 1A
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：腐食性あり	区分 1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし	
生殖細胞変異原性	：データなし	
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし	
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし	
吸引性呼吸器有害性	：データなし	

グアニジン塩酸塩について記載

急性毒性	：経口　ラット　LD_{50} ＜ 2000mg/kg	区分 4
	経皮　ウサギ　LD_{50} ＞ 2000mg/kg	区分外
	吸入　ラット　LC_{50} ＞ 5mg/L	区分外
皮膚腐食性・刺激性	：ウサギを用いた試験「highly irritating」	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ウサギを用いた試験「irritating」	区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし	
生殖細胞変異原性	：データなし	
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし	
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし	
吸引性呼吸器有害性	：データなし	

水酸化ナトリウムについて記載

急性毒性	：経口　ウサギ　LD_{50} ＞ 5000mg/kg	区分外
	経皮　ウサギ　LD_{50} ＞ 5000mg/kg	区分外
	吸入　データなし	
皮膚腐食性・刺激性	：皮膚腐食性あり：区分 1　含有量≦2.5%	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：皮膚腐食性あり　pH12.0	区分 1

呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし
生殖細胞変異原性	：体細胞及び生殖細胞を用いた invivo 変異原性試験 陰性　区分外
発がん性	：データなし
生殖毒性	：データなし
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：粉塵やミストの急性吸入暴露により粘膜刺激に続き、咳・呼吸困難などが引き起こされ、さらにばく露が強いと肺水腫やショックに陥る可能性がある。区分 1 含有量≦2.5%　区分 2（呼吸器）
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし
吸引性呼吸器有害性	：データなし

12. 環境影響情報

亜硫酸水素アンモニウムについて記載

生態毒性	：データなし
残留性・分解性	：データなし
生体蓄積性	：データなし
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし
その他の有害影響	：データなし

グアニジン塩酸塩について記載

生態毒性	：データなし
残留性・分解性	：データなし
生体蓄積性	：データなし
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし
その他の有害影響	：データなし

水酸化ナトリウムについて記載

生態毒性	：甲殻類(Ceriodaphnia quadrangula）LC_{50}=40.4mg/L /48H　含有量≦2.5% 水生環境慢性有害性　区分外
残留性・分解性	：データなし
生体蓄積性	：データなし
土壌中の移動性	：データなし
オゾン層への有害性	：データなし
その他の有害影響	：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	：容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切に処分する事。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	：2693
品名	：Bisulphites, aqueous solution, n.o.s.(Ammonium Hydrogensulfite Solution)
クラス	：8
容器等級	：PG Ⅲ
海洋汚染物質	：非該当

国連番号	：1824
品名	：Sodium hydroxide solution
クラス	：8
容器等級	：PG Ⅲ
海洋汚染物質	：非該当

国際規制
　陸上規制情報　：ADR/RID の規定に従う。
　海上規制情報　：IMO の規定に従う。
　航空規制情報　：ICAO/IATA の規定に従う。
国内規制
　陸上規制情報　：消防法の規定に従う。
　海上規制情報　：船舶安全法の規定に従う。
　航空規制情報　：航空法の規定に従う。
特別の安全対策　：輸送の際には、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れないように積み込み荷崩れの防止を確実にする。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

亜硫酸水素アンモニウムについて記載
消防法　：非該当
毒物及び劇物取締法　：非該当
労働安全衛生法　：危険有害化学物質（規則第 24 条 14）
　：特定危険有害化学物質（規則第 24 条 15）
化学物質管理促進法（PRTR 法）：非該当

グアニジン塩酸塩について記載
消防法　：非該当
毒物及び劇物取締法　：非該当
労働安全衛生法　：危険有害化学物質（規則第 24 条 14）
　：特定危険有害化学物質（規則第 24 条 15）
化学物質管理促進法（PRTR 法）：非該当

水酸化ナトリウムについて記載
消防法　：非該当
毒物及び劇物取締法　：非該当
労働安全衛生法　：名称等を表示すべき有害物（法第 57 条）No.319
　名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2）No.319
化学物質管理促進法（化管法）：非該当

16. その他の情報

・引用　NITE 化学物質総合情報提供システム　NITE Chemical Risk Information Platform (NITE-CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
原料試薬供給先から提供された SDS

＊本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
＊新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
＊記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
＊特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。